

令和8年度
事業募集のご案内



目 次

令和 8 年度事業募集の概要	P1
まちの文化創造事業 [共催]	P2~3
アートシアター鑑賞事業 [共催]	P4~5
アートシアター鑑賞事業 [主催]	P6~7
アドバイザー派遣事業 [共催]	P8~9
文化交流事業 [助成]	P10~11
こどもアート体験事業 [主催]	P12~14
応 募 方 法	P15
事業申請から完了までの流れ	P16~17

令和8年度事業募集の概要

道民の皆さんの幅広い文化活動の振興を図ることを目的に、令和8年度に北海道文化財団が共催・助成等を行う事業を募集します。

まちの文化創造事業：地域の皆さんのが自主的に取り組む文化活動事業

アートシアター鑑賞事業：優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する事業

アドバイザー派遣事業：文化活動を担う人材育成に関する事業

文化交流事業：文化交流の促進に関する事業

こどもアート体験事業：子どもたちを対象とした芸術普及事業

〈対象となる事業〉

令和8年度（令和8年4月～令和9年3月）に実施する事業

〈対象団体〉

道内に拠点を有する以下の団体

- 地域文化団体（文化芸術分野において過去3年以上継続的な活動を行っており、規約等を有する団体）
- 市町村又は市町村教育委員会
- 実行委員会（過去3年以上の活動実績があり規約等を有する実行委員会、または母体となる団体が過去3年以上の活動実績がある実行委員会）
- 公立文化施設の管理・運営団体
- 学校（アドバイザー派遣事業に限る）

〈選定方法〉

当財団に設置した専門委員会で協議のうえ、理事会で決定します。

〈他の財源との併用について〉

併用できない財源：北海道及び北海道教育委員会からの補助金・交付金等

まちの文化創造事業【共催事業】

地域の皆さんによる自主的・創造的な文化芸術活動に対して共催します。

対象分野

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、文芸、映像、写真、メディア芸術 等

対象となる活動

公演、コンサート、展覧会、アートプロジェクト、芸術祭 等

活動例

【舞台公演等】

■ 第7回帯広市民オペラ『アイーダ』

共催団体：帯広市民オペラ公演実行委員会（帯広市）

内 容：帯広・十勝の地域の皆さんが出演・管弦楽・舞台技術・運営スタッフを担い創り上げたオペラ公演



■ OR DOOR 2024

共催団体：オアドア制作委員会（恵庭市）

内 容：恵庭の自然の中で音楽と郷土芸能が融合する地域密着型野外フェスティバル



photo by akane

photo by 竹内裕都

【展示会、アートプロジェクト等】

■ 第2回朝里川 桜咲く現代アート展

共催団体：小樽・朝里のまちづくりの会（小樽市）

内 容：朝里川地区の住民と小樽市に活動拠点を持つ美術家による現代美術展とワークショップ



■ 葦の芸術原野祭 2024

共催団体：葦の芸術原野祭実行委員会（斜里町）

内 容：地域住民とアーティスト等が相互交流し、地域文化の再発見と新たな価値創出を目指すアートプロジェクト



〈対象外となる活動〉

- 特定の指導者一門や流派、愛好者団体の会員のみによる活動
- 特定の団体等による単なる自主公演や鑑賞公演
- 公演や展示等の発表を含まない活動（例：ワークショップのみの活動）
- 学校の授業としてのみ実施される活動
- 原則として、過去に3回以上共催された活動

〈共催負担金の額〉

共催負担金対象経費の2分の1以内の額（上限額：300万円）

※使途が特定された助成金等があり、当財団の共催負担金対象経費と重複する場合は、対象経費から使途特定の助成金等を差し引いた額の2分の1以内の額となります。

※共催負担金は概算払が可能です。

〈入場料・参加料〉

入場料・参加料の徴収の有無は問いません。

〈その他〉

事業に際しては、必ずアンケート調査を実施してください。調査方法や提出様式は任意のものとします。

〈選考基準〉

- ワークショップやアウトリーチを行うなど、地域住民の関与・参画が工夫されている
- 地域の人材や文化的特色を生かした活動である
- 新しい視点・手法を取り入れるなど、独創性や先駆性がある
- 一過性でなく、今後の継続・展開の具体性がある
- 地域に根付いた継続的な活動である
- 活動計画に具体性・実現性がある
- 地域や他団体への広がりが期待できる

〈共催要綱〉

https://haf.jp/pdf/project/youkou01_machi.pdf



アートシアター鑑賞事業【共催事業】

道内外で活動するアーティストによる音楽、演劇、舞踊等の鑑賞公演等を共催します。制作団体・実演家等から応募のあつた企画（「令和8年度公演企画資料」に掲載された企画）と、北海道文化財団が推薦する企画（HAFセレクトプログラム）が共催の対象となります。

「令和8年度公演企画資料」は下記URLまたは右記二次元コードより閲覧できます。

URL : https://haf.jp/archive_r2.html



- 「令和8年度公演企画資料」に掲載された企画
 - 道内アーティストプログラム
 - 道外アーティストプログラム（2つ以上の団体が開催する場合に限る）
- HAFセレクトプログラム
北海道文化財団が推薦するアーティストによる企画

※1申請団体につき、道内アーティストプログラム・道外アーティストプログラム・HAFセレクトプログラムそれぞれ1企画まで応募が可能です。

共催負担金の額

- 「令和8年度公演企画資料」に掲載された企画
共催負担金対象経費から入場料収入を除いた2分の1以内の額
- HAFセレクトプログラム
共催負担金対象経費から入場料収入を除いた3分の2以内の額

※使途が特定された助成金等があり、当財団の共催負担金対象経費と重複する場合は、対象経費から使途特定の助成金等を差し引いた額の2分の1以内の額（HAFセレクトプログラムは3分の2以内の額）となります。

入場料・参加料

事業実施に際しては、必ず入場料・参加料等を徴収してください。

その他

事業に際しては、必ずアンケート調査を実施してください。調査方法や提出様式は任意のものとします。

共催要綱

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou02_art.pdf



HAFセレクトプログラム～北海道文化財団が推薦するアーティストによる企画～

① 北芸亭・寄席演芸講座

北芸亭

注目の演者が次々現れ、道内で人気の高まりつつある寄席演芸。その機運に更なるアプローチとして、落語芸術協会会長・春風亭昇太を座長に、これからの方に注目の演者を取り揃え、幅広い年代層に向けた一般寄席公演（2021年～）と、落語、講談、浪曲、音曲など各演芸ジャンルへの知的欲求に応える寄席演芸講座（2022年～2024年）の、二つの企画を（公財）北海道文化財団と（公社）落語芸術協会の提携事業『北芸亭』シリーズとして札幌で開催してきました。



企画内容

落語、講談、浪曲、音曲、太神楽曲芸などからジャンルを一つお選びいただきます。

①解説中心の講座スタイル（～200名程度）

例）落語の場合：歴史や修行などの解説～仕草解説・小噺実演～実演鑑賞（落語口演）

②体験中心のワークショップ（～25名程度）

例）落語の場合：仕草・小噺実演～扇子・手拭を用い落語体験～実演鑑賞（落語口演） 太神楽曲芸の場合：解説～バランス芸・傘廻し等体験～太神楽実演鑑賞
①、②のいずれかご希望の形で実施いたします。出演者は道内でも公演経験のある演者で構成し、実演鑑賞を多めにするなど、ご要望に応じて実施いたします。

公演企画団体	公益社団法人落語芸術協会
住所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎2F
MAIL	geikyonakaya@gmail.com
TEL	03-5909-3080
担当者	中谷英亮
ホームページ	https://www.geikyo.com/
上演時期	通年
公演予定額	45万円程度（オール込み）
対象ホール規模	20席～200席（内容により応相談）
出演者	2名
スタッフ	1名

② ホール探検隊！ピアニスト田村緑と探すマイ・ベストシート！～最高の響きを探求・聴き比べワークショップ付きコンサート～

田村 緑

躍動感に満ち、情感溢れる演奏スタイルと、在英経験を活かした独創的プログラムが注目され、全国各地で演奏活動を展開。普及の分野では先駆者の存在。聴き手が音楽を楽しめる体験とするために、様々な手法を生み出すピアニストとして貴重な存在である。地域と共にある企画開発、地域に貢献できる演奏家育成など活動は多岐に渡る。

道内では苫前町、土別市朝日町、大空町、深川市などでコンサートやアウトリーチに出演。2023年以降、札幌コンサートホールKitara「0歳からのコンサート」(大ホール)、「3歳からのコンサート」(小ホール)に3年連続出演、大成功を収める。

桐朋女子高校音楽科、英国ギルドホール音楽院、ロンドン大学シティ校修士課程修了。CD「魅惑の名曲集」「展覧会の絵」「5台ピアノ」他。現在、(一財)地域創造・公共ホール音楽活性化支援事業・登録アーティスト。



©Shigeto Imura

公演企画団体	株式会社ティムズム
住所	〒181-0016 東京都三鷹市深大寺1-15-14
MAIL	tmzmcontact@gmail.com
TEL	※まずは上記のメールアドレスからご連絡ください。 0422-90-2446
担当者	田村 緑
ホームページ	http://www.tmzm.net
上演時期	通年
公演予定額	66万円程度（オール込み）
対象ホール規模	200席～2000席
出演者	1名
スタッフ	1名

企画内容

「体験型ワークショップ付きコンサート」

「コンサートが初めての方」や「親子」から「クラシック通」まで、誰もが楽しめる、コンサートとワークショップが一体となった「体験型イベント」です。

【前半ワークショップ】(約60分)

ホールを探検するように、参加者自らが、舞台上や色々な座席で聴き比べ＆見比べをして、自分好みの1席「マイ・ベストシート」を見つけ出します。

【後半コンサート】(約60分)

マイ・ベストシートで楽しいトーク付きコンサートを鑑賞。

「くるみ割り人形」「動物の謝肉祭」「展覧会の絵」など豊富なレパートリーから選曲可能。終わる頃には誰もが「ホール通」に！ホールに愛着が湧くきっかけ作りをしませんか。

※公演の規模や内容はご希望によって変化します。お気軽にご相談下さい。

※コンサートのみの来場者を募ることも可能です。

※現地スタッフ（音響・照明・舞台・WS誘導）のお手配をお願いします。



写真提供：いわき芸術文化交流館アリオス

③ さっぽろ人形浄瑠璃あしり座「人形浄瑠璃公演」

さっぽろ人形浄瑠璃あしり座

北海道では触れる機会の少ない伝統人形芝居を一人でも多くの方々に観劇していただき、古典芸能の魅力を子どもから大人まで広く道民に伝え、人形浄瑠璃の普及に努めることを目的とし設立。北海道で唯一の人形浄瑠璃芝居一座として2025年で創立30周年を迎えました。

歴史の浅い北海道で生まれた新たな伝統芸能の形「さっぽろ人形浄瑠璃」の可能性を追求しながら、古典作品の上演の他、古典の基本を大切にしながらも自由な発想で、北海道ゆかりのオリジナル作品の創造、上演にも取り組んでいます。

企画内容

演目 「二人三番叟」「日高川入相花王渡し場の段」「祝い唄」(約90～100分)
内容 舞台の無事を願うご祝儀舞「二人三番叟」、安珍・清姫の道成寺伝説を題材とした「日高川入相花王」、そしてご当地ネタを入れた大漁や安全を願う、あしり座オリジナル演目のご祝儀舞「祝い唄」をご覧いただきます。

「日高川入相花王」「祝い唄」は生演奏でご覧いただき、途中、人形解説やあらすじの説明を加えます。子どもから大人まで誰でも楽しむことができる演目です（出演者の都合やご希望等により別プログラムの可能性もあります）。なお、ご希望があれば、子どもたち等への人形浄瑠璃体験ワークショップも実施可能です。

公演企画団体	さっぽろ人形浄瑠璃あしり座
住所	〒007-0835
MAIL	北海道札幌市東区北35条東3丁目1-10-205 yabuki.hidetaka@syaa.or.jp
TEL	011-723-5911（やまびこ座）
担当者	安田晃子（事務局長）
ホームページ	https://ashiriza.blogspot.com
上演時期	通年
公演予定額	70万円程度（オール込み）
対象ホール規模	150席～500席
出演者	15名
スタッフ	3名



※公演詳細については、各企画会社にお問い合わせください。

アートシアター鑑賞事業【主催事業】

公共文化ホール等の施設がないなど、舞台芸術等の鑑賞環境が整備されていない地域において、北海道文化財団と市町村や地域文化団体等が共同主催で音楽・演劇・舞踊等の鑑賞公演を行う事業です。北海道文化財団が推薦する下記の公演が対象となります。

経費の担金

- 財団の負担：出演料、旅費、舞台費、運搬費、著作権使用料、技術スタッフ費
- 団体の負担：会場費、広報宣伝・印刷費、ケータリング 等

入場料

公演の入場料は原則として無料とします。

公演プログラム

① 和楽 -WARAKU- 和洋折衷コンサート『弦ノ響』

和楽 -WARAKU-

和楽器と洋楽器の共存を目指し、2014年に立ち上げた和太鼓・三味線・ピアノ・ベースのユニットです。唯一無二の音楽でオリジナル曲を中心に活動しています。

北海道最大級

の和洋折衷コンサート『和楽 -WARAKU-』は2024年で10周年を迎え、毎年世界観を変え進化し続けています。2024年の東神楽町文化ホール「花音」こけら落とし公演をはじめ、豊富町・上ノ国町など、様々な公演が整理券・チケットが無くなるほどの大好評をいただいている。



公演企画団体

ホームページ

Waraku Art Music株式会社

<https://www.warakuartmusic.com/>

上演時期

通年

出演者

4名

スタッフ

3名

公演内容

和太鼓奏者 田村幸崇が、嵐ライブツアー 2015 Japonism公演、美のカリスマ IKKO ディナーショー、GLAYのTERUとの共演経験を元に、和楽 -WARAKU- 『弦ノ響』をプロデュース。

和太鼓を中心に津軽三味線、ピアノ、ベースを加えた編成による和洋折衷の伝統と革新のステージ。単なる和楽器と洋楽器の共演ではなく、この編成のために作られたオリジナル曲を中心とした音楽をはじめ、視覚でも楽しめる照明や舞台装飾を取り入れた和洋の世界観を、音と目の両方でお届けします。また、伝統を伝えるべく大太鼓の独奏や民謡をカバーするなど、聞きやすくお届けする演奏を行っております。

楽曲一覧:オリジナル曲他、大太鼓独奏、津軽三味線独奏、民謡（こきりこ節・ソーラン節）



② トランク機械シアター 人形劇 『がらくたオバケと、おそうじ係のロン』

トランク機械シアター

2012年より、大人と子どもが一緒に楽しめる舞台作品を作ることをテーマに活動を開始。2023年4月より一般社団法人化。毎年11月に人形劇の本公演を行う事を軸に、保育園や幼稚園、学校でも公演やワークショップを行っています。2024年11月に上演した本公演では、TGR優秀賞・観客賞・俳優賞を受賞。人形劇の他、児童劇の公演や若手の演劇、人形劇公演も行っています。

公演企画団体

ホームページ

上演時期

出演者

スタッフ

一般社団法人トランク機械シアター

<https://www.trunktheater.net/>

通年

4名

3名



公演内容

“がらくたオバケ”と人間の子ども“ロン”を巡る、心温まる物語。子どもから大人まで家族で楽しめる人形劇です。本編・ワークショップとともに、60分程を予定しています。

【あらすじ】ここは町のゴミ捨て場。まだ使える“がらくた”もいっぱい。

そんな“がらくた”たちは、実はオバケになって暮らしていたのです。みんな自分を捨てた人間が大嫌い。でも1人だけ、人間と仲良くなりたいと言っています。ある日、人間の子どもロンがやってきました。2人は出会い仲良しに。

でも、他のオバケたちにロンは見つかり、人間たちにも、がらくたがオバケのことがバレてしまいます。

「がらくたオバケをやっつけよう！」

がらくたオバケと人間は、仲良くなることができるかな？

開演前に“がらくたオバケ”を作るワークショップも実施し、参加者が作ったオバケを俳優が動かすなど、表現遊びの時間も楽しめます。

※ワークショップ無しでの上演も可能です。



アドバイザー派遣事業【共催事業】

地域において自主的・創造的な文化芸術活動に取り組んでいる団体等が、文化芸術分野に関する専門家やアーティストを招き実施する人材育成事業に対して共催します。

対象分野

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、文芸、映像、写真、メディア芸術、アートマネジメント、ホール運営、文化事業の企画・制作、舞台技術（舞台、音響、照明）等

対象となる活動

ワークショップ、講習会、実技指導 等

活動例

■劇団清水企画×鐘下辰男（演出家、脚本家）

場所：札幌市 | 対象：道内の舞台芸術関係者 | 期間：3日間 | 参加人数：約60名

内容：演劇企画集団THE・ガジラ主宰の鐘下辰男氏を講師としてシアターZOOに招聘し、演劇の基本を座学と実践を交えて考えるワークショップ



■東神楽町×高橋正和（照明）・安達玄（音響）

場所：東神楽町 | 対象：ホール担当職員 | 期間：3日間 | 参加人数：約6名

内容：北海道内外で活動する舞台技術者を招き、照明・音響の基礎的な技術を学ぶ研修会



対象外となる活動

- 特定の指導者一門や流派、愛好者団体やカルチャースクール等の会員を対象とした講習会等
- 未経験者を対象とした普及型のワークショップ等
- 講演会の講師やシンポジウムのパネリスト等
- 本公演の稽古から本番に係る一連の業務
- 学校の授業として行う活動
- 原則として、過去に3回以上共催された活動

〈共催負担金の額〉

共催負担金対象経費の3分の2以内の額（上限額：100万円）

※使途が特定された助成金等があり、当財団の共催負担金対象経費と重複する場合は、対象経費から使途特定の助成金等を差し引いた額の3分の2以内の額となります。

※共催負担金は概算払が可能です。

〈受講料・参加料〉

受講料・参加料の徴収の有無は問いません。

〈その他〉

- 指導・助言を受ける専門家やアーティストの人数・回数・実施時間等の制限はありません。
- 事業に際しては、必ずアンケート調査を実施してください。調査方法や提出様式は任意のものとします。

〈共催要綱〉

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou04_ado.pdf



派アドバザイザ
派遣事業 |

文化交流事業【助成事業】

地域において文化芸術分野で活動している団体等が、道外や海外の文化芸術団体等と交流を行う活動に対して助成します。

対象分野

音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、美術、文芸、映像、写真、メディア芸術 等

対象となる活動

- 発信交流：道外や海外に赴き現地の文化芸術団体等と公演・コンサート・展覧会・アートプロジェクト・芸術祭等を通して交流する活動
- 招へい交流：道外や海外から文化芸術団体等を招へいし公演・コンサート・展覧会・アートプロジェクト・芸術祭等を通して交流する活動

活動例

【発信交流】

■吟ムツの会『思い出せない夢のいくつか』佐世保公演

助成団体：吟ムツの会 | 交流先：劇団樂園天国（長崎県）

内 容：平田オリザ作『思い出せない夢のいくつか』を両団体が連続上演し、札幌と佐世保の演劇状況について語り合うアフタートークを実施



■北海道日韓交流プロジェクト2025『ムドゥンウルムリ祭りへ、行く』

助成団体：新芸能集団「乱拍子」 | 交流先：光州文化財団（韓国）

内 容：光州文化財団が主催するムドゥンウルムリ祭りに招かれ、日本・北海道由来の演目や大道芸を上演



【招へい交流】

■シベリウス生誕160年記念公演『Kullervo in HOKKAIDO』

助成団体：日本シベリウス協会北海道支部 | 交流先：Finland 男声合唱団 Laulu Miehet（フィンランド）

内 容：フィンランドの男声合唱団 Laulu Miehet を招へいし、北海道大学合唱団・北海道大学交響楽団と合同公演を実施



■創立30周年記念演奏会（第31回定期演奏会）～北海道・東北農民管弦楽団ジョイントコンサート～

助成団体：北海道農民管弦楽団 | 交流先：東北農民管弦楽団（岩手県）

内 容：農業に携わる音楽愛好家による両団体が合同演奏会を開催



〈対象外となる活動〉

- 特定の団体等による単なる自主公演や鑑賞公演
- 相互交流を伴わない活動
- 原則として、過去に5回以上助成された活動

助成金の額

助成金対象経費の2分の1以内の額（上限額：300万円）

※使途が特定された助成金等があり、当財団の助成金対象経費と重複する場合は、対象経費から使途特定の助成金等を差し引いた額の2分の1以内の額となります。

※助成金は概算払が可能です。

〈入場料・参加料〉

入場料・参加料の徴収の有無は問いません。

その他

団体間の相互交流に係る覚書又はそれに代わるものが必要です。

選考基準

- 双方向の交流・協働が企画されている
- 交流する団体等や地域とのネットワークの構築や将来性が期待できる
- 姉妹提携や交流協定に基づく長期的な文化交流として企画されている
- 地域の文化芸術活動の活性化に繋がる創造的な取り組みである
- 新しい視点・手法を取り入れるなど、独創性や先駆性がある
- 活動計画に具体性・実現性がある

助成要綱

URL : https://haf.jp/pdf/project/youkou03_kouryu.pdf



子どもアート体験事業【主催事業】

国内外で活躍するアーティストが学校や文化施設に出向き、ワークショップや創作活動を通じて子どもたちと交流する、北海道文化財団と市町村や地域文化団体等の共同主催事業です。

経費の負担

- 財団の負担：アーティスト等に係る謝金と旅費
- 団体の負担：会場費、参加者の募集等に係る広報宣伝・印刷費、現地での送迎、ケータリング 等

参加料・受講料

ワークショップ等の参加料、受講料等は無料とします。

その他

学校で実施する場合は、教育委員会から応募してください。

派遣アーティスト

■ 北尾 豆 (振付家・ダンサー・俳優／Baobab主宰)

2009年ダンスカンパニー「Baobab」を旗揚げ。単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客や木ノ下歌舞伎、範宙遊泳など舞台作品のほか、NHK連続テレビ小説『半分、青い。』などTVドラマ、CM、映画にも振付を多数提供。ダンサー・俳優として、近藤良平、福原充則、熊谷拓明、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。ワークショップやアウトリーチ活動などを全国で展開。尚美学園大学・桜美林大学・多摩美術大学非常勤講師。トヨタコレオグラフィーアワード2012「オーディエンス賞」、横浜ダンスコレクション2018コンペティションI「ベストダンサー賞」などを受賞、ベッシー賞（ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞）「OUTSTANDING PERFORMER部門」（2020年）ノミネート。



実施内容

日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしているものを題材にダンスを創作し、身体表現の楽しさを体験します。

実施条件

- 時期：下記いずれかの期間
令和8年 5月中旬～ 6月下旬
10月中旬～11月上旬
12月下旬
令和9年 2月上旬～ 3月下旬
- 期間：2日間
- 対象：小学生
- 人数：10～20名程度



■ 沢 則行（人形劇師）

北海道小樽市出身。

1991年にフランス、1992年に文化庁在外研修派遣でチエコへ。以後、プラハを拠点に世界20ヶ国以上で公演、また、チエコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部を始め、多くの教育現場で講座、ワークショップを行う。

ヨーロッパ文化賞「フランツ・カ夫カ・メダル」授与、EU文化都市賞など、国際的受賞多数。日本国内では、NHK「みんなのうた」映像制作、「SWITCH インタビュー達人達」出演、東京オリンピック・パラリンピックの公式文化プログラム「東京2020NIPPONフェスティバル～巨大人形プロジェクト『モッコ』」の人形デザイン設計および人形製作操演総指揮を担う。極小から巨大まで、あらゆる人形（＝フィギュア）を創造し操演するところから、フィギュアアートシアターの第一人者とされる。2023年は野田秀樹作・演出「NODA・MAP～兎、波を走る」で人形担当。また2025年までの3ヶ年計画で台湾での巨大人形劇を監督中。



実施内容

人形劇のさまざまな表現方法を体験する2種類のワークショップを行います。ワークショップに先立ち、沢さんの小作品も上演します。

●影絵ワークショップ

好きな形を切りぬいて影絵人形をつくります。

それをオーバーヘッドプロジェクター（OHP）でスクリーンに映して、動かしてみよう！

●箱の人形舞台（ボックスシアター）ワークショップ

色々な材料を使って小さな箱の劇場やキャラクターを作ります。

さあ、楽しい人形劇を上演してみよう！

実施条件

●時期：下記いずれかの期間

令和8年5月11日～24日

6月15日～19日、22日～26日

10月1日～26日

11月9日～30日

12月1日～11日

令和9年 1月8日～31日

●期間：2日間

●対象：小学生～中学生（小学生低学年は保護者同伴）

●人数：20名程度

体
こ
ど
も
ア
ー
ト
事
業

その他

ワークショップで使用する材料をご用意いただく必要があります。詳細については当財団にお問い合わせください。



■ やぶ くみこ (音楽家・作曲家)

1982年岸和田生まれ。英国ヨーク大学大学院コミュニティミュージックを修了。舞台音響家を経て音楽家へ。

インドネシアのジャワガムランや中東の打楽器ダルブルカ、日本の箏や三味線など民族楽器を中心に国内外の舞台音楽の作曲、演奏や他ジャンルとのコラボレーション多数。地域と人々の多様性に寄り添ったオーダーメイドな音楽ワークショップを各地で展開。淡路島にて野村誠と「瓦の音楽」を2013年より監修。京都にて即興中心のガムラングループ“スカルグンディス”を2014年より主宰。寺尾紗穂のCD「わたしの好きなわらべうた2」(2020)「わたしの好きな労働歌」(2025)に参加。2018年度国際交流基金アジア・フェローシップ。滋賀在住。



実施内容

「ちゃんと作って味わう音楽」

学校にある楽器や日用品、声から魅力的な音を探して音楽を作ります。また、音符を使わない楽譜を作って、多様な楽譜と表現のあり方と一緒に体験します。最終的に地域のみなさんに向けて、ちいさなコンサートを開きます。

実施条件

- 時期：要相談
- 期間：2日間
- 対象：小学生～中学生
- 人数：20名程度



Photo : Tsutsumi Yano

■ ひさの しの (美術家)

1978年北海道生まれ。2003年北海道教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻美術教育専修（西洋画）修了。「他者の個人的な記憶」に基づく世界像を再構築し、多重の視点から生まれる新しい物語やありえたかもしれない風景を油彩画で制作する。札幌を中心に東京、台湾などで個展、グループ展にて作品を発表。札幌市内の教育機関、アートスクールなどでワークショップを行う。近年の展示に、ART MARKET 2025 OIL BY美術手帖（銀座蔦屋書店 東京 2025）、個展『氷の島とタイムマシン』（ギャラリー門馬 札幌 2024）、『光の子ども』詩人文月悠光との二人展（ギャラリー門馬 札幌 2022）、『night bird』桙見菜々子との二人展（Gallery Camellia 東京 2019）など。



実施内容

場所や人の暮らしに潜む逸話や出来事、思い出などのエピソードを集めて、参加者と一緒に絵画を制作します。



実施条件

- 時期：令和8年6月～9月
- 期間：延べ10日程度
- 対象：小学生
- 人数：10～20名程度

応募方法

1 提出書類

(1) 事業計画書

当財団のホームページに掲載している「令和8年度事業募集」のページからダウンロードして作成してください。

(2) 定款または団体規約

(3) 役員名簿（職業、所属、役職等を記載）

(4) 参考資料（企画書、過去事業のチラシ 等）

※申請者が市町村、市町村教育委員会の場合、(2) と (3) は提出不要です。

2 提出期限

令和8年1月29日（木）13時必着

3 提出方法および提出先

期限までにメールで提出してください。郵送・FAX・持ち込みによる提出は受け付けておりません。

提出先メールアドレス：keikaku@haf.jp

4 結果通知

令和8年3月下旬にメールで通知します。

5 留意事項

- 当財団のホームページにある該当事業の共催・助成要綱を必ずお読みください。
- 提出後、内容確認のため財団の担当者から連絡する場合があります。
- 採択された事業はホームページで公開します。

◆ 問合せ先

公益財団法人北海道文化財団

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル3F

TEL 011-272-0501 (平日8:45~17:30) メールアドレス：keikaku@haf.jp

◆ 令和8年度事業募集のご案内及び「事業計画書」のダウンロードはこちらから

URL : https://haf.jp/project_r8.html

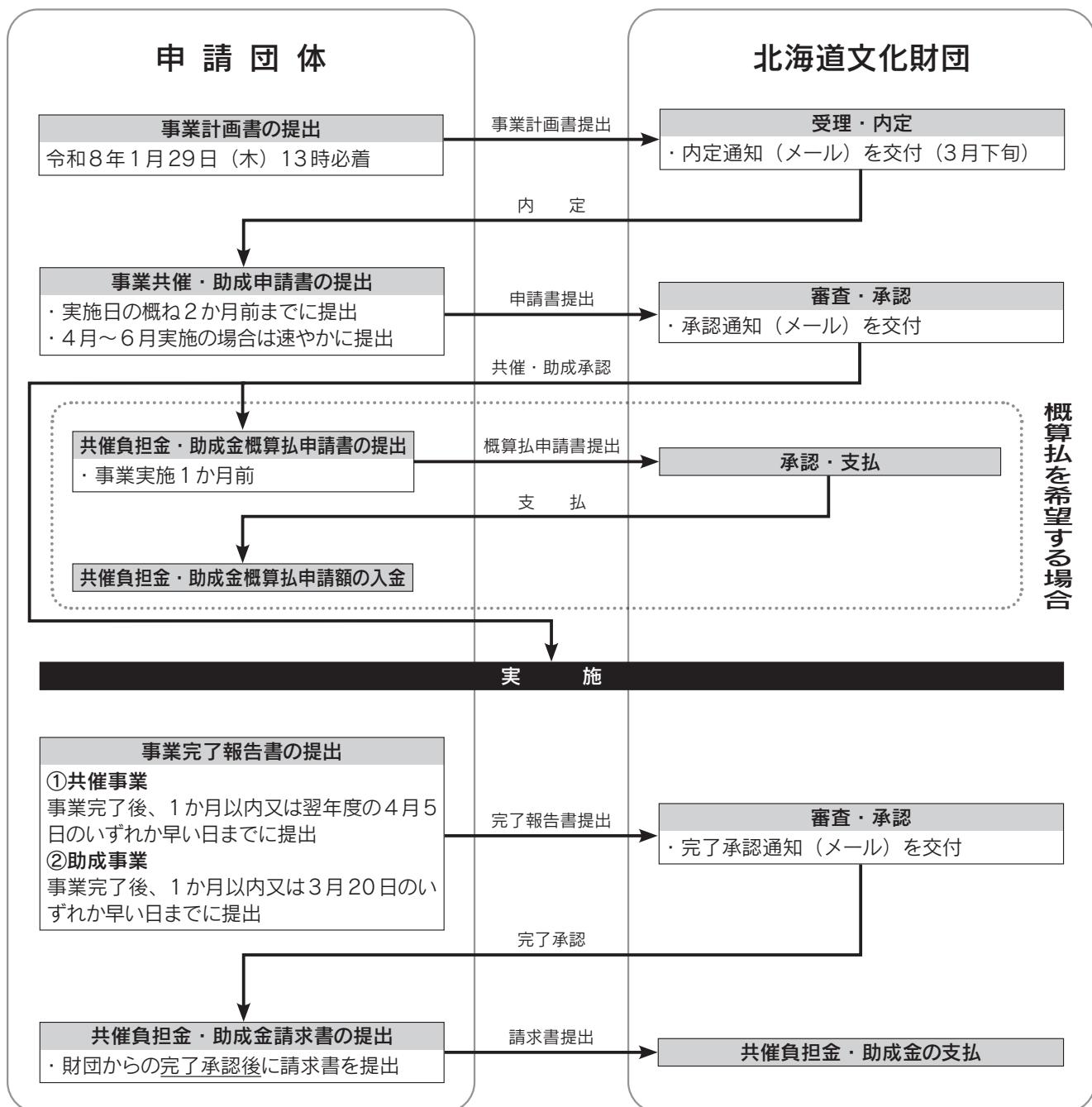


共催・助成事業 申請から完了までの流れ

対象事業

- 共催事業：まちの文化創造事業、アートシアター鑑賞事業【共催】、アドバイザー派遣事業
- 助成事業：文化交流事業

事務手続きの流れについて



※各種提出書類の様式は、当財団のホームページからダウンロードしてください。

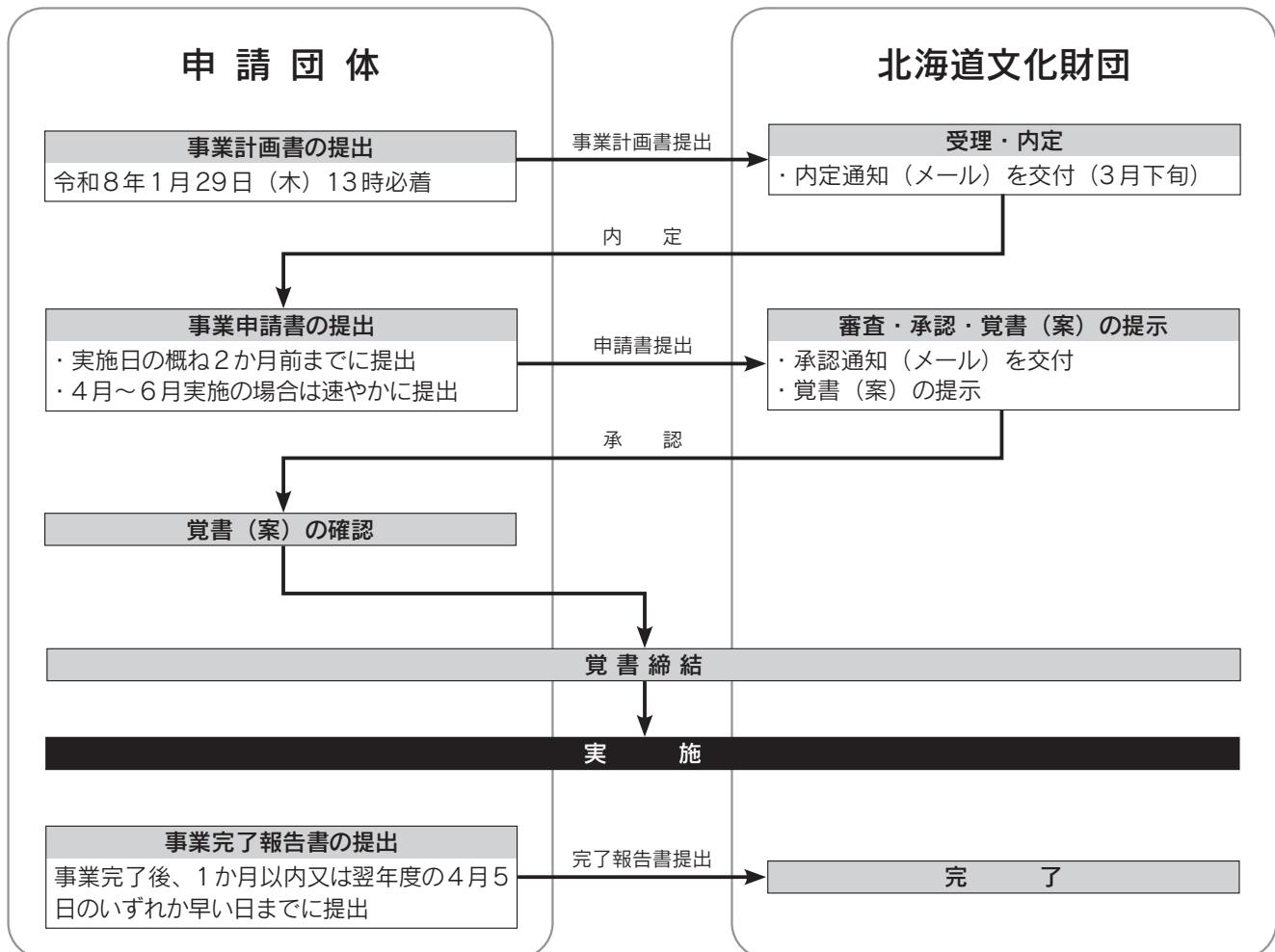
※事業の詳細については、当財団のホームページにて共催・助成要綱及び留意事項等をご参照ください。

主催事業 申請から完了までの流れ

対象事業

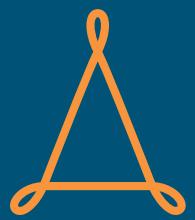
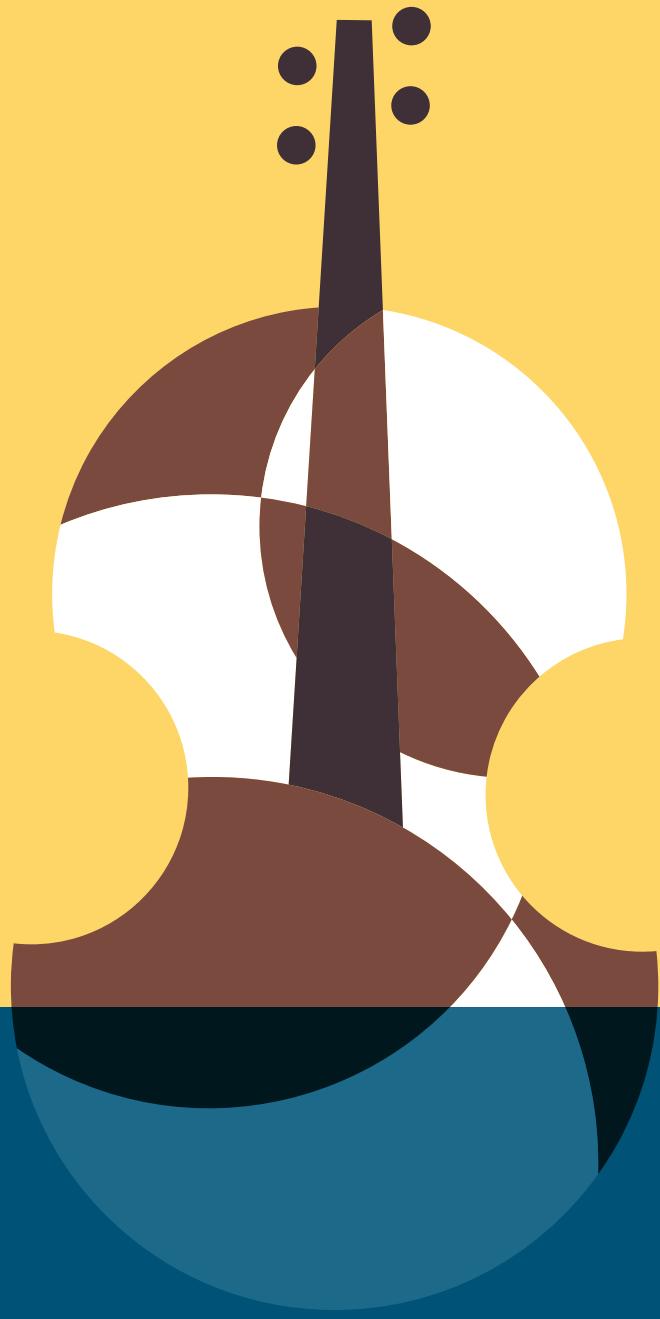
- 主催事業：アートシアター鑑賞事業【主催】、こどもアート体験事業

事務手続きの流れについて



※各種提出書類の様式は、当財団のホームページからダウンロードしてください。

事業申請から完了までの流れ



HOKKAIDO
ARTS FOUNDATION

公益財団法人 北海道文化財団